

「鬼太鼓の森」ケヤキ育樹イベントに参加

佐渡市(旧新穂村) 田ノ沢国有林



平成30年5月26日(土)、
「鬼太鼓の森づくり」協議
会が主催するケヤキ育樹
イベントに参加しました。

一般参加者及び協議会
関係者、合わせて31名が
作業を行いました。

「鬼太鼓の森」は、林野庁が推進する「国民参加の森づくり」活動のうち、「木の文化を支える森」に指定されています(全国23箇所; 関東森林管理局管内では唯一)。

平成19年、佐渡市長を会長とする「鬼太鼓の森づくり」協議会が下越森林管理署と協定を結び、以降国有林内でケヤキやホオノキ等を育てています。これらの樹種は、佐渡の伝統芸能「鬼太鼓」に使う太鼓やバチの原料です。将来、この森の木で作られた太鼓の音色が島内に響き渡ることを願い、活動しています。

当日は好天の下、植栽したケヤキの育樹作業の一環として、下刈を行いました。



作業前と作業中の様子。下草(雑草)が繁茂すると、植栽木の苗に十分な日光が届かない等の弊害が生じます。これを防ぐために下草を刈る作業を下刈とよびます。

その後、下越署職員が動植物や、植栽木に施された雪害や獣害の対策を解説する中、林内を散策しつつ別の植栽地へ移動。子供たちが自分の名前をプレートに書き、好きな植栽木にくくり付けました。自分のプレートを付けた木の今後の成長が気になりますね。



蝶舞う森を散策。



署員による積雪深度計の解説。

午後には記念品のコースターを製作しました。「鬼太鼓の森」で伐採したスギの端材をのこぎりで輪切りにし、さらにヤスリ掛けしてから焼き印を押します。子供たちも楽しんでいました。

体を動かしたあと食べるごはんは格別ですね。



コースターづくりの様子。小さなお子さんのはのこぎりを扱うのが大変そうです。皆さんヤスリ掛けに熱中していました。

